

平成24年度

かほく市教育委員会
点検及び評価報告書

平成25年8月

かほく市教育委員会

はじめに

この報告書は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第27条の規定に基づき、平成24年度のかほく市教育委員会の活動を振り返るとともに、教育委員会が毎年示す「かほく市の教育」の重点目標を達成するための具体的施策について、自ら事務事業の点検及び評価を行い、教育に関し学識経験を有する方々からの意見もいただいて作成したものです。

かほく市教育委員会は、心豊かで創造性に富む人づくりを目指すため、創造力と生きがいを育む教育の推進に努力してまいります。

平成25年8月

かほく市教育委員会

かほく市の教育（平成24年度）

教育方針

海とみどりに抱かれた「やすらぎ」と「うるおい」のあるまちを愛し、心豊かで創造性に富む人づくりを目指すため、家庭・学校・地域がそれぞれの役割を担い、かつ連携を深め、創造力と生きがいを育む教育を推進する。

学校教育目標

将来のかほく市を担う心豊かでたくましい児童生徒の育成を目指す。

○ 重点事項

- ・ 基礎基本の定着と活用力の向上
- ・ 道徳教育と人権教育の推進
- ・ 健康、体力向上を育む教育の充実
- ・ 開かれた学校と特色ある学校経営の推進
- ・ 教職員の研修の充実と資質の向上
- ・ 就学環境の向上による学校教育の推進

生涯教育目標

「かほく市生涯学習推進計画」に基づき、社会性を育み、個々が生きがいを持ち、共に学びあい支えあう生涯学習社会の実現を目指す。

○ 重点事項

- ・ 家庭教育力の向上を図るための学習活動の推進
- ・ 地域教育力の向上にむけたコミュニティ活動の活性化
- ・ 豊かな心を育むための青少年教育・読書活動の推進
- ・ 男女共同参画社会の実現に向けた啓発活動の推進
- ・ 国際社会に対応するための国際理解教育の推進
- ・ 生きがいづくりに向けた文化活動の推進
- ・ 地域文化を育み、郷土愛を培う活動の推進

スポーツ振興目標

「かほく市スポーツ振興計画」に基づき、市民一人一人が自主的にスポーツに取組、健康で豊かな生活ができるよう生涯スポーツの実現を目指す。

○ 重点事項

- ・ 生涯スポーツ活動の推進
- ・ 児童生徒の体力・運動能力の向上
- ・ 競技スポーツの充実・強化
- ・ スポーツ施設の整備・充実

目 次

I 教育委員会の活動状況	1
(1) 教育委員会会議の開催状況	1
(2) 教育委員会会議の審議状況	1
(3) 教育委員の主な活動状況	3

II 点検及び評価	4
-----------	---

施策1 将来のかほく市を担う心豊かでたくましい児童生徒の育成を目指して【学校教育課・教育センター】

1 基礎基本の定着と活用力の向上	6
2 道徳教育と人権教育の推進	10
3 健康、体力向上を育む教育の充実	12
4 開かれた学校と特色ある学校経営の推進	14
5 教職員の研修の充実と資質の向上	15
6 就学環境の向上による学校教育の推進	16

施策2 社会性を育み、個々が生きがいを持ち、共に学びあい支えあう生涯学習社会の実現を目指して【生涯学習課】

1 家庭教育力の向上を図るための学習活動の推進	20
2 地域教育力の向上にむけたコミュニティ活動の活性化	21
3 豊かな心を育むための青少年教育・読書活動の推進	23
4 男女共同参画社会の実現に向けた啓発活動の推進	26
5 国際社会に対応するための国際理解教育の推進	27
6 生きがいづくりに向けた文化活動の推進	28
7 地域文化を育み、郷土愛を培う活動の推進	31

施策3 市民一人一人が自主的にスポーツに取組、健康で豊かな生活ができるよう生涯スポーツの実現を目指して【生涯学習課】

1 生涯スポーツ活動の推進	34
2 児童生徒の体力・運動能力の向上	36
3 競技スポーツの充実・強化	36
4 スポーツ施設の整備・充実	39

資料	41
----	----

注意：本文中の書体変化部は、平成24年度において、新規事業又は拡充した事業を表しています。

I 教育委員会の活動状況

(1) 教育委員会会議の開催状況

教育委員会会議については、原則として毎月1回「教育委員会」を開催し、平成24年度は12回開催しました。

(2) 教育委員会会議の審議状況

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第23条に定める職務について、及び「市長の権限に属する事務の一部を教育委員会に委任する規則」の規定に基づき、平成24年度は18件について審議しました。

◎平成24年度教育委員会会議開催状況

回（開催日）	審議決定事項
平成24年第4回 (平成24年4月27日)	議案第19号 かほく市教育委員会委員長の選挙について 議案第20号 かほく市教育委員会委員長職務代理者の指定について 議案第21号 かほく市教育委員会教育長の任命について 報告事項・ 平成23年度かほく市立中学校英語検定結果について ・ 姉妹都市メスキルヒ市市民交流受入について ・ 石川県西田幾多郎記念哲学館10周年記念事業について ・ かほく市立中央図書館の利用状況について
平成24年第5回 (平成24年5月30日)	議案第22号 平成24年度準要保護児童生徒の認定について 議案第23号 かほく市男女共同参画審議会委員の一部改選について 報告事項・ 各種審議会等の委員委嘱について ・ 平成24年度かほく市学力調査結果について ・ 平成24年度第1回かほく市社会教育委員会議の結果報告について
平成24年第6回 (平成24年6月25日)	議案第24号 平成24年度準要保護児童生徒の追加認定について 報告事項・ 平成24年度かほく市奨学生選考委員会の結果について ・ 平成24年度6月補正について ・ 平成24年度加賀地区中学校体育大会の結果について
平成24年第7回 (平成24年7月25日)	議案第25号 平成24年度準要保護児童生徒の追加認定について 議案第26号 かほく市指定文化財の名称変更について 報告事項・ 石川県基礎学力調査の結果について ・ 平成24年度石川県中学校総合体育大会の結果について ・ 第25回記念 JAPAN TENT について ・ 第64回石川県民体育大会（夏季大会）について
平成24年第8回 (平成24年8月29日)	議案第27号 平成24年度準要保護児童生徒の追加認定について 議案第28号 平成23年度かほく市教育委員会点検及び評価報告書について 報告事項・ 第33回北信越中学校総合競技大会等成績一覧について ・ 平成24年度学力学習状況調査の結果について ・ いじめへの対応について ・ 平成24年度9月補正について ・ 第9回かほく市生涯学習フェスティバルについて ・ 平成24年度第2回かほく市社会教育委員会議の結果報告について

回（開催日）	審議決定事項
平成 24 年第 9 回 (平成 24 年 9 月 25 日)	議案第 29 号 平成 24 年度準要保護児童生徒の追加認定について 議案第 30 号 平成 24 年度かほく市教育委員会表彰被表彰者の決定について 報告事項 ・ 姉妹都市交流メスキルヒ市青少年訪問団交流事業について
平成 24 年第 10 回 (平成 24 年 10 月 25 日)	議案第 31 号 平成 25 年度かほく市の教育目標について 報告事項 ・ 平成 24 年度河北郡市中学校新人体育大会の結果について ・ 平成 24 年度第 3 回かほく市社会教育委員会議の結果報告について
平成 24 年第 11 回 (平成 24 年 11 月 26 日)	議案第 31 号 平成 25 年度かほく市の教育目標について（継続） 議案第 32 号 平成 24 年度準要保護児童生徒の追加認定について 報告事項 ・ 第 9 回かほく市成人式について ・ 第 9 回かほく市立志式について
平成 24 年第 12 回 (平成 24 年 12 月 21 日)	報告事項 ・ 平成 24 年度 1 2 月補正予算について ・ 平成 24 年度かほく市就学指導委員会の結果について ・ 平成 24 年度指導主事訪問を終えて
平成 25 年第 1 回 (平成 25 年 1 月 23 日)	報告事項 ・ 平成 25 年度当初予算要求について ・ 平成 24 年度体力・運動能力調査結果について（速報値） ・ かほく市女性センター条例の一部改正について ・ かほく市社会教育委員設置条例の一部改正について ・ かほく市体育施設条例の一部改正について ・ かほく市高松総合型地域スポーツクラブ拠点施設条例の一部改正について ・ かほく市立学校施設利用条例の一部改正について ・ 第 9 回かほく市成人式について ・ 第 9 回かほく市立志式について
平成 25 年第 2 回 (平成 25 年 2 月 21 日)	報告事項 ・ 平成 24 年度 3 月補正予算について ・ 平成 24 年度かほく市立小中学校卒業式参列者について ・ 第 9 回かほく市制施行記念継走大会開会式の参加について
平成 25 年第 3 回 (平成 25 年 3 月 28 日)	議案第 1 号 かほく市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則について 議案第 2 号 かほく市教育委員会文書取扱規程の一部を改正する規程について 議案第 3 号 かほく市教育委員会公印規則の一部を改正する規則について 議案第 4 号 かほく市体育施設条例施行規則及びかほく市立学校施設利用条例施行規則の一部を改正する規則について 報告事項 ・ 平成 24 年度第 4 回社会教育委員会議結果について ・ 平成 25 年度かほく市教育委員会職員の人事について ・ 平成 25 年度主要事業計画（案）について ・ 平成 24 年度第 2 回かほく市就学指導委員会判定結果について

(3) 教育委員の主な活動状況

◎教育委員が出席した主な活動等

年月日	活動内容
平成24年 4月 4日	平成24年度初任、新任教職員辞令交付式
平成24年 4月 5日	平成24年度かほく市立小中学校入学式
平成24年 5月10日	平成24年度河北郡市教育委員会連合会定期総会
平成24年 5月11日	平成24年度石川縣市町教育委員会連合会定期総会
平成24年 6月 3日	第9回かほく市総合体育大会開会式
平成24年 6月 7日	第68回寸心忌・献花式
平成24年 6月25日	前期学校訪問（高松中学校、宇ノ気中学校、七塚小学校）
平成24年 7月 3日	前期学校訪問（大海小学校、宇ノ気小学校、外日角小学校）
平成24年 7月10日	前期学校訪問（金津小学校、河北台中学校、高松小学校）
平成24年 7月19日	第64回石川県民体育大会出場選手壮行会
平成24年 7月25日	石川縣市町教育委員会セミナー
平成24年 8月 7日	第2回かほく市子ども議会
平成24年 8月11日	第64回石川県民体育大会（～12日）
平成24年 8月26日	サンドヒルかほく市2012グラウンド・ゴルフ大会
平成24年 8月27日	学力向上ヒアリング（～10月2日）
平成24年 9月 8日	小学校運動会（宇ノ気小学校、金津小学校） 中学校運動会（高松中学校、河北台中学校、宇ノ気中学校）
平成24年 9月15日	小学校運動会（高松小学校、七塚小学校、外日角小学校）
平成24年 9月29日	小学校運動会（大海小学校）
平成24年10月12日	平成24年度石川縣市町教育委員会連合会研究大会
平成24年11月 3日	平成24年度かほく市教育委員会表彰式
平成24年11月27日	平成24年度河北郡市教育委員会連合会研修会
平成25年 1月13日	第9回かほく市成人式
平成25年 2月 1日	第9回かほく市立志式
平成25年 2月 4日	後期学校訪問（高松中学校、河北台中学校、宇ノ気中学校）
平成25年 2月14日	後期学校訪問（金津小学校、大海小学校、七塚小学校）
平成25年 2月20日	後期学校訪問（宇ノ気小学校、外日角小学校、高松小学校）
平成25年 3月 3日	第9回かほく市制施行記念継走大会
平成25年 3月 9日	平成24年度かほく市立中学校卒業式
平成25年 3月19日	平成24年度かほく市立小学校卒業式
平成25年 3月28日	平成24年度かほく市立小中学校教職員離任式

II 点検及び評価

(1) 点検及び評価の対象

点検及び評価の対象は、「かほく市の教育方針」に基づき平成24年度に実施した具体的な施策とします。

(2) 点検及び評価の方法

点検及び評価は、施策に基づく事業内容と実績を明らかにするとともに、成果と課題などを示しています。

また、点検及び評価にあたっては、教育に関し学識経験を有する方として、かほく市人権擁護委員の羽田輝雄氏、かほく市社会福祉協議会長の宮前昭夫氏、かほく市女性協議会会長を歴任された能任まち子氏から様々な意見や助言を得ました。

(3) 主な意見等

非常に広い範囲の事務事業を教育委員会の所管として取り組んでいる様子が見受けられる。限られた人員で事務事業を行なっていくためには、市民との協働や民間委託を推進していってほしい。その際には、市民団体や民間業者に対して適切な指導監督を行い、公共サービスが低下しないよう配慮してほしい。

児童生徒の学力や体力の向上については、県や国レベルでの調査及び市独自の学力調査が実施されており、さらに詳細な部分での分析も行なわれ充分活用されている。

平成24年度初めて教育委員自らが学校長や研究主任に対してヒヤリングを実施し具体的な学力向上対策の取り組みに反映させたことは評価できる。短期的な学力や体力の動向だけではなく長期的視野にたった心豊かな児童生徒の育成に努めてほしい。

いじめ、体罰のない安心して学校へ行ける環境づくりに、これからも引き続き教育委員会の指導管理を徹底してほしい。

また、特別支援教育についても、これまで以上に配慮を要する児童生徒が増加している。さらに、個々に応じたきめ細かな対応が必要となっている。

学校環境 ISO の取り組みに関連して、未だに空き缶のポイ捨てなどが後を絶たない状況である。美化運動のみならず省エネ活動などの環境に対する活動を公民館活動や市の環境部署と連携しながら、学校での取り組みを地域や家庭へ広げてほしい。

「食の安全及び食育」の観点から、食物アレルギーの児童生徒への対応が求められている。かほく市では共同調理場形式での給食の提供体制であり、個別調理場形式と比べて対応が難しい面はあると思うが、代替食など個々の児童生徒に応じた給食の提供に向けて取り組んでもらいたい。

昨今の子どもたちの状況を見ていると、善悪の判断や言葉遣いの悪さが危惧されている。

学校において指導していてもまだまだ身についていない。親のしつけの問題など家庭の教育力の低下が要因として考えられる。大人がそれぞれの立場で子どもたちに対して手本を示し指導していかなければならないことであり、公民館活動などを通じて家庭教育の推進に取り組んでいってほしい。

通学路の安全点検を実施したことは、非常に良い取り組みだと思う。

しかし、点検だけで終わることなく具体的な対策が必要となってくる。対策に当たっては、財源的な課題もあるが、国、県、市という管理区分の違いに拘らずに、危険度のより高い箇所を優先的に速やかに取り組んでいってほしい。

市民憲章推進運動は、市にとって大きなプロジェクトである。

その点、現在の取り組みは寂しいといわざるを得ない。市長部局でもっと大きな観点から取り組むべきではないか。郷土愛を育む手立てとしても、国旗掲揚運動にも取り組んでもらいたい。

スポーツ少年団やスポーツクラブの加入率が非常に高く、児童生徒の体力の向上という点では素晴らしいことである。

反面、子どもたちが地域の行事よりスポーツクラブの活動を優先させる傾向が年々強くなり、地域活動参加率の低下や学校での友達関係に影響しているのではないかと危惧している。

これらの意見なども踏まえて、今後の教育行政において創意工夫を図り、かほく市の教育を推進していきます。

施策1 将来のかほく市を担う心豊かでたくましい

児童生徒の育成を目指して

【学校教育課・教育センター】

1 基礎基本の定着と活用力の向上

主な取組	<p>(1) 市学校教育研究事業 (600 千円)</p> <p>①校内研究を深め、学校教育の振興及び児童生徒の学力の向上を推進した。</p> <ul style="list-style-type: none">・外日角小学校 (平成23～24年度：市指定) 研究主題 「自ら考え、学び合う子どもをめざして」 副 題 一見通しをもって課題解決し、学び合う力の育成一 発表期日 平成24年10月24日 (水)・高松小学校 (平成24～25年度：市指定) 研究主題 「一人一人が輝き、学び合う子をめざして」 副 題 一相手意識をもって話したり聞いたりする授業を通して一 公開授業 平成24年 6月29日 (金) 平成24年11月21日 (水)・高松中学校 (平成24～25年度：市指定) 研究主題 「自ら考え 豊かに表現する生徒の育成」 副 題 一「基礎基本の定着」と「習得と活用ができる授業づくり」 を通して一 <p>(2) 「いしかわ学びの指針12か条」推進校指定事業 (110 千円)</p> <p>①県の指定を受け、活用力を高めるために、相手意識を持って「話す力」「聞く力」を身につけさせ、考えた根拠や筋道を加えるようにする。また、教師自身がお互いの授業力向上をめざし、指導改善を進める体制づくりにも図った。</p> <ul style="list-style-type: none">・高松小学校 (平成24～26年度：県指定) 公開授業 平成24年 6月29日 (金) 平成24年11月21日 (水) <p>(3) 読書活動推進モデル校指定事業 (80 千円)</p> <p>①県の指定を受け、読書活動を活性化するとともに、児童生徒の望ましい読書習慣の確立を図り、語彙力や読解力等を高めることを図った。</p> <ul style="list-style-type: none">・宇ノ気小学校 (平成24年度：県指定)
------	--

(4) 学力調査の実施 (2,038 千円)

①市の学力調査として、小学校5年生は小学校4年生までに学習した(国語、算数)この他に10月までに学習した(社会、理科)、中学校1年生は小学6年生までに学習した(国語・数学・理科)、中学校2年生は中学1年生までに学習した(国語・数学・英語)、その他に学習に対する意識や家庭学習、生活習慣などの状況等に関する内容について調査を実施した。

この他に、国の基礎学力調査として、小学校6年生は小学校5年生までに学習した(国語、算数、理科)、中学校3年生は中学2年生までに学習した(国語・数学・理科)を実施した。

また、県の基礎学力調査として、小学校4年生は小学校3年生までに学習した(国語、算数)、小学校6年生は小学校5年生までに学習した(社会)、中学校3年生は中学校2年生までに学習した(社会、英語)その他に学習に対する意識や家庭学習、生活習慣などの状況等に関する内容について調査を実施した。

②学力調査結果に伴う各小中学校の今後の対策について、教育委員と各学校長等との学力向上ヒアリングを実施した。

(5) 特別支援教育体制の推進 (15,641 千円)

①特別支援学級配置校において、特別な配慮が必要な児童生徒の必要性に応じて支援員を10人(高松小学校2人、七塚小学校2人、外日角小学校1人、宇ノ気小学校4人、宇ノ気中学校1人)配置し、学習活動に必要な支援を行った。

②緊急雇用創出事業により通常学級における配慮が必要な児童に応じて学級補助員6人(七塚小学校1人、外日角小学校1人、宇ノ気小学校3人、高松中学校1人)を配置し、学習活動に必要な支援を行った。

③生徒の悩み事の相談を受けるため、心の教室相談員3人を週3回各中学校に配置し、相談者に適切な助言を行った(相談件数497件)。

④児童生徒の臨床心理に関する専門家であるスクールカウンセラーを2人(高松中学校・宇ノ気中学校・河北台中学校・宇ノ気小学校)派遣し、相談者や関係者に対して問題解決への指導・助言を行った。

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">主な取組</p>	<p>(6) 小学校英語活動及び中学校英語教育の充実 (14,499 千円)</p> <p>①市内小中学校の英語活動及び英語授業を推進するため、外国青年招致事業によるALT (外国語指導助手) 3人を配置した。</p> <p>②小学校英語活動研修会 (外部講師研修会) に文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官の直山木綿子氏を講師として招き、宇ノ気小学校を会場に示範授業と講演会を開催した。</p> <p>③中学校生徒の英語力の向上を目指すとともに、目標に向けての学習意欲の向上を推進するため、英検検定料を年1回に限り補助する中学校英語力向上事業を実施した。</p> <p style="text-align: center;"><u>受験者数</u></p> <p style="text-align: center;">高松中学校 256人、河北台中学校 413人、宇ノ気中学校 452人</p> <p style="text-align: right;">合計 1,121人</p> <p>(7) 学校版ISO推進事業</p> <p>①いしかわ学校版環境ISO認定を受け、全ての小中学校にて環境行動計画に基づく地球温暖化防止に係る環境保全活動を実施した。</p>
---	---

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">評価</p>	<p>市学校教育研究事業については、これまで大切だと思っていたこと (研究主題) について教職員が気持ちを一つにして取り組み、その成果を再確認することができた。</p> <p>当該学校だけでなく小中学校や家庭や地域との連携を図りながら実践することが効果的である事を実感し、計画的・継続的に取り組む必要を感じることができた。</p> <p>読書活動については、朝読書を始め全校的な取り組みが可能であったことから、学校図書館の有効な活用や子どもの主体的・意欲的な読書活動を図ることができた。</p> <p>また、学校図書館内にお薦めの本リストなどを掲示、意見交流の場を設定することにより、子どもがいろいろな種類の本に触れる機会が増え、読書の幅を広げることができた。</p> <p>その他に、学習指導部会と連携し、並行読書や朝読書など学校全体で読書活動を実践する取組により、児童に読書の楽しさを味わわせ知的好奇心を満足させたり、主体的な読書習慣の形成につなげることができた。</p>
---	--

<p>評価</p>	<p>各事業の実施による基礎・基本の学力向上に加えて、活用力の向上の取組も推進することができた。学力調査などの結果をしっかり受け止め、現状の学力実態の把握・分析を進め、「生きる力」の更なる向上を目指して、各小中学校の対策について、教育委員によるヒアリングを実施し、学力向上対策の共通実践項目として、①授業改善（ねらいを明確にした授業実践のための週案づくり等）②学力調査の活用（過去問題の効果的な活用等）③家庭との連携の強化（家庭学習の充実、生活習慣の確立等）の3点を実施することとした。その他に、各学校の取り組みとして、ぐんぐん教室やどんどん教室など補充学習や年間指導計画の修正、教職員の授業への基本姿勢の見直しなどを実施した。</p> <p>児童生徒の基礎的・基本的な知識・技能や活用力の定着状況及び学習・生活状況について把握・分析し学校における児童生徒への教育指導の改善を図ることができた。併せて、教員の指導状況等を把握し、指導改善に役立てることができた。</p> <p>特別支援教育支援員及び学級補助員の配置は、児童生徒の安定した学校生活に必要な不可欠であり、今後も各学校の実態に即した配置を行う必要がある。また、市就学指導委員会が当該児童生徒の現状を見極め、個に応じた指導・支援が図られている。</p> <p>外国語活動においては、児童へ音声を中心に外国語に慣れ親しませる活動を通じて、異国の言語や文化について体験的に理解を深めるとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする姿勢・能力の素地を養うことを目標として様々な活動を推進するために一層の充実を図っていく。</p> <p>高松小学校においては、平成23年度から取り組んでいる地球温暖化防止に係る環境保全活動のいしかわ学校版環境 ISO の活動がエコギフト銅賞として表彰された。</p> <p>児童・生徒が環境に関心をもつことにより、家庭や地域へも広がりを見せるといった間接的な影響もあり、その教育効果・波及効果はかなり大きいと考えられる。</p> <p>学校での活動を通じ、環境保全活動の輪がさらなる広がりを見せていくことが期待される。</p>
-----------	---

2 道徳教育と人権教育の推進

主な取組	<p>(1) 共通道徳への取組</p> <p>①小学校5年生、中学校2年生が郷土の偉人である西田幾多郎博士を取り上げ、石川県西田幾多郎記念哲学館を活用し、共通道徳授業を行った。</p> <p>②平成21年度に市共通道徳推進委員会が作成した、実践事例集及び指導資料集を道徳の授業に活用するとともに、市内各小学校の5年生は「寸心読本」(西田幾多郎の伝記本)も道徳教育に活用した。</p> <p>(2) いしかわ道徳教育推進事業(200千円)</p> <p>県の指定を受け、いしかわ道徳教育推進事業学校の教育活動全体を通して、伝え合う力の育成に努めるとともに、「他の人を思いやる心」の大切さを中心に指導し、支え合える温かな人間関係を基本とした学校づくりを図った。</p> <p>河北台中学校(平成24年度:県指定)</p> <p>研究主題 「支え合う温かな人間関係を築く道徳教育」</p> <p>副 題 ー伝え合う力の育成を基にー</p> <p>(3) 学校図書館司書の配置(11,001千円)</p> <p>①全小学校に学校図書館司書5人(うち1人は大海小学校と金津小学校を兼務)を配置し、年11回の図書館司書研修会で共通理解を図り、子どもたちの読書生活を豊かにするとともに課題解決学習などの有効活用を促進した。</p> <p>また、図書館司書を週1回中学校へ派遣し、生徒の読書活動の支援を行った。</p> <p>(4) 芸術鑑賞推進事業(1,055千円)</p> <p>①子ども達に優れた舞台芸術鑑賞の機会を提供し、鑑賞能力の向上と豊かな情操の涵養を図るため、オーケストラ・アンサンブル金沢のオーケストラ鑑賞を河北台中学校で、演劇集団遊玄社による「音楽劇・イソップランドの動物たち」のスクールシアター鑑賞を七塚小学校及び外日角小学校(低学年を対象)で、古典芸能鑑賞を高松小学校及び大海小学校(高学年を対象)でそれぞれ実施した。</p> <p>(5) 人権教育推進事業(400千円)</p> <p>①次代を担う子どもたちの豊かな心を育み、人権意識を高めることを目的として、劇団民話芸術座による民話劇「河童の笛」を高松小学校で実施し、また、劇団民話座による民話劇「雨ふり小僧」を高松中学校で実施した。</p>
------	--

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">主な取組</p>	<p>②国並びに県の指定を受け、人権尊重の感覚を育成することを意識した取り組みを実施した。</p> <p>七塚小学校（平成24～25年度：国・県指定）</p> <p>研究主題 「自ら学ぶ子どもをめざして」</p> <p>副 題 ー学び合い、認め合う学習を通してー</p>
---	---

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">評価</p>	<p>道徳において、本市出身の哲学者である西田幾多郎博士を取り上げ、氏の生き方に学び、共感することにより児童生徒の道徳心を涵養することは、心の教育の一環として有効であり、今後も全ての小中学校の児童生徒を対象に共通道徳として継続して実施する。</p> <p>また、共通道徳の実践によって将来の夢や希望を持つ児童生徒の割合が増加傾向にあることから、今後も実践的な道徳教育を行っていく。</p> <p>この他に、河北台中学校の研究事業においては、思いやりの心をはぐくむことをねらいとした授業、人間関係づくりを図った上で様々な視点に立ってみるという体験的活動を通して、他者の気持ちを理解し共感することを重視するという工夫・改善の手掛かりをつかむことができた。</p> <p>子どもの読書活動を推進するためには、図書館司書の役割が重要であり、資料の収集や整理を行い、レファレンス活動を推進するとともに、市立図書館との連携、司書研修などの充実を努めた。小学校の図書の貸出冊数は、H23 貸出冊数 155,899 冊に対してH24 貸出冊数 176,906 冊と増加しており、子どもの意欲的な読書活動を推進することができた。</p> <p>なお、司書を定期的に中学校へ派遣することによって中学校の読書環境の充実を図ることができた。</p> <p>生きた本物の芸術鑑賞を行い、人権教育を推進することは、次代を担う子供たちの豊かな心を育み、思いやりの心を涵養することから、対象校を選定しつつ継続して実施する。</p>
---	---

3 健康、体力向上を育む教育の充実

主な取組	<p>(1) 体力向上推進</p> <p>①児童のスポーツに対する関心を高めることを目的として、県が推進するスポチャレいしかわに市内全小学校が各種目に挑戦した。</p> <p>②体力アップ1校1プランにおいて、各小中学校が設定した目標に対する成果・課題を検証し、児童生徒の体力アップに取り組んだ。</p> <p>(2) 大会出場派遣事業 (11,576 千円)</p> <p>①県大会、北陸信越大会、全国大会などに出場する中学校の部活動に対して交通費等を補助し、部活動の振興を図った。</p> <p>(3) 食育教育の推進</p> <p>①児童生徒の食に関する知識と食を選択する力を育成するために、給食便りの発行や栄養教諭などによる食育教育の推進に加えて、児童の稲作体験、かほっくりの定植や収穫、紋平柿の収穫や脱渋などの農業体験を行うとともに、生産者との交流会なども実施した。</p> <p>(4) 学校給食事業 (286,811 千円)</p> <p>①成長期にある児童生徒にバランスのとれた安全・安心な食事を提供 (3,307食/日) した。</p> <p>②保護者を対象とした試食会の開催や地産地消への取組として地元産材の活用を行った。米飯給食は、かほく市瀬戸町、鉢伏産コシヒカリ1等米を提供した。さらに、パン給食に米粉パンを月1回提供した。</p> <p>③石川県教育委員会の協力のもと、児童生徒等のより一層の安全・安心の観点から、学校給食における放射性物質の有無や量について把握するため、検査を実施した。</p> <p>第2学校給食センター 平成24年11月26日～30日 第1学校給食センター 平成25年3月4日～8日</p> <p>④平成25年度から工事予定である厨房設備等の改修計画の実施設計を行い、給食の安定供給の準備を行った。</p>
------	---

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">主な取組</p>	<p>(5) 教育相談事業 (127 千円)</p> <p>①不登校やいじめなどの電話相談、臨床心理士による教育相談を行った。 (来所 27 件、出張 7 件、電話 37 件 計 71 件)</p> <p>②教育支援センター「すまいる」は、通室生 (14 人) に対して、各学期当初の「登校チャレンジ週間」や毎月 2 回の「ステップアップ目標」を個別に対応しながら設定し、学校復帰への支援を強化してきた。</p> <p>(6) 問題を抱える子ども等の自立支援事業 (306 千円)</p> <p>①臨床心理士の武山雅志氏による保護者、教職員への指導助言を行った。</p> <p>②学生ボランティア等 4 人が相談室等を通じて不登校児童生徒の学級復帰を支援した。</p>
---	--

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">評価</p>	<p>全国体力・運動能力調査の結果については、平成 23 年度より平成 24 年度結果が県平均値を超える項目が増加した、特に、中学全学年において、平成 23 年では、調査項目累計 54 項目数 (9 項目×学年数×男女) 中、県平均以下であった項目数は、25 項目であったが、平成 24 年度では、中学生 1 年女子の反復横とびの結果のみ県平均以下であり、体力・運動能力向上が図られた。</p> <p>その他に、河北台中学校軟式野球部においては、文部科学大臣杯第 4 回全日本少年春季軟式野球大会にて準優勝という素晴らしい成績を残した。</p> <p>また、部活動の大会派遣補助事業の実施により保護者負担を軽減し、部活動の活性化を推進することができ、学校体育の振興を図ることができた。</p> <p>かほく市食育推進計画に基づき、他部局とも連携し、学校現場で様々な食育推進に資する事業を行うことができた。</p> <p>学校給食においては、食の安全に細心の注意を払いつつ地産地消の取組も推進することができた。</p> <p>今後も学校給食を通じて児童生徒の食に関する適切な判断力を涵養し、健康で豊かな人間を育む基礎となる取組を推進する必要がある。</p> <p>また、食物アレルギーのある児童生徒に対し十分な配慮を行うため、進学、新学年前に食物アレルギー調査を行なった。保護者、主治医や学校医等とも連携を図り、教職員全員が食物アレルギーに関する正確な知識と共通理解のもと、食物アレルギーをもつ児童生徒に必要な配慮を行うことができた。</p>
---	--

評価	<p>教育支援センターの事業については、生活のリズムの再構築と学習支援が重点課題であり、各学期当初の「登校チャレンジ週間」の設定や毎月2回の「ステップアップ目標の設定」等で家庭や学校との連携強化を行い、不登校状況の改善を図ってきた。</p> <p>また、4月の9名から3月には14名に通室生が増加する中で、看護大等の学生支援ボランティアの導入や地域ボランティアの活用を図ることで支援体制の充実を図ることができた。</p>
----	--

4 開かれた学校と特色ある学校経営の推進

主な取組	<p>(1) 学校評価の実施</p> <p>①各学校の目標達成状況や達成に向けた取組の適切さについて評価することにより学校として組織的・継続的に改善を行った。</p> <p>また、学校便りや学校評価の結果などをホームページにて掲載した。</p> <p>(2) 学校支援委員会の設置</p> <p>①地域の有識者による学校支援委員会を全ての学校に設置し、学校運営に関して助言等を行うことにより学校を支援した。</p>
------	---

評価	<p>学校経営について、学校関係者による評価を受け、必要な改善を行うことは、より開かれた学校を推進する上で必要不可欠となる。</p> <p>また、学校支援委員会による様々な助言を学校運営に生かすことにより地域と学校の密接な連携を促進し、地域に根ざした学校の運営を促進することとなるので、引き続き強化し実施していく。</p> <p>なお、市教育委員会教育方針に基づく学校教育目標の達成を図るため、学校の短期経営目標の具体化を図り、評価時にその成果を検証する必要があることから、今後統一的に実施していく。</p>
----	--

5 教職員の研修の充実と資質の向上

主 な 取 組	<p>(1) かほく市指定研究 (※1 基礎基本の定着と活用力の向上 (1) 市学校教育研究事業を含む)</p> <p>① 学校教育研究校を指定 (外日角小学校、高松小学校) し、学力向上につながる児童生徒への効果的な指導方法について研究を行い、教職員の共通理解を深めた。</p> <p>(2) 校内研修の充実</p> <p>① 県教育委員会との連携により実施し、教職員の資質向上を図った。</p> <p>(3) 指導主事学校訪問</p> <p>① 学校の指導方針に基づく実際の授業の進め方などについて、指導主事が直接学校に対し、指導・助言を行った。</p> <p>(4) 市学校教育研究会 (830 千円)</p> <p>① 教職員が教育課程研究部会などの 8 部会を組織し、学校教育のあり方などについて研究し、県外視察及び教職員研修会の実施により本市の学校教育の向上を推進した。</p> <p>(5) 市教育センターによる研修会 (171 千円)</p> <p>① 教職員の質を高めることを目的とする教育講演会に F R 教育臨床研究所所長の花輪敏男氏を招聘した。</p> <p>その外、新任教職員研修 (1 回)、学力向上研修 (4 回)、教科指導講座 (1 回)、学校図書館司書研修会 (11 回)、特別支援教育支援員・学級補助員研修会 (3 回) などを実施した。</p>
------------------	---

評価	<p>指定研究の実施で得られた成果を発表会などにおいて公開することにより他校の教職員との共通理解を深め、指導方法の向上に資することができた。</p> <p>また、習得した効果的な指導法を授業に生かすため、次年度もより充実した取組を継続して実施していく。</p> <p>指導主事訪問、学校教育研究会、教育センターによる研修会を通じて様々な課題に対する指導法を習得するなど教職員の資質の向上を図ることができた。</p> <p>また、学校教育研究会との連携を更に深め、先進地の事例なども積極的に収集し、効果的な研修を実施していく。</p> <p>教職員の意識改革及び指導力の向上を図るための支援体制の充実を図るため、管理主事・指導主事の2名体制による各校の校内研究会への直接指導と研修会等の拡充を次年度より実施していく。</p>
----	---

6 就学環境の向上による学校教育の推進

主な取組	<p>(1) 要・準要保護児童生徒就学援助事業 (24,791 千円)</p> <p>経済的理由によって就学が困難と認められる児童生徒369人の保護者に対し、学校に係る費用の一部を援助した。また、その他に東日本大震災にて避難された世帯の児童生徒5人も対象として、学校に係る費用の一部を援助した。</p> <p>(2) 特別支援教育就学奨励費補助金 (839 千円)</p> <p>特別支援学級に就学する児童生徒21人の保護者の経済的負担を軽減するため、特別支援教育に資する費用の一部を助成した。</p> <p>(3) 幼児教育補助金 (19,314 千円)</p> <p>①保護者の負担軽減のため、所得に応じて幼稚園就園奨励金を163人に交付した。</p> <p>②幼児教育振興のため、市内私立幼稚園2園(木津幼稚園、うのけ幼稚園)に対し運営補助金を交付した。</p>
------	--

(4) 育英奨学補助金 (1,461 千円)

経済的事情により就学が困難な高校生 15 人に対し、奨学資金 (8,000 円/月) を支給した。

(5) 学校施設等整備事業

①高松小学校整備事業 (8,652 千円)

平成 25 年度から実施する 35 人以下学級の適用に伴い、不足する普通教室を補うために既存のランチルームを普通教室に改修した。

②大海小学校整備事業 (935 千円)

昭和 58 年 6 月の建設から 29 年が経過し、トイレ設備が一斉洗浄や和式トイレ等の旧式の湿式のため臭気等が発生し不衛生であることから、学校環境の改善を目的に個別洗浄や洋式トイレの乾式タイプへの改修のための設計を行った。

③七塚小学校整備事業 (15,656 千円)

普通教室棟及び特別教室棟の西側外壁部が劣化によりひび割れや外壁の浮きが生じており、地震時において落下の危険性があるために、外壁の耐震化工事を行った。

④外日角小学校整備事業 (489 千円)

地震時において落下の危険性がある外壁の調査を行った。

⑤宇ノ気小学校整備事業 (35,000 千円)

旧西田記念館を解体し、新にスクールバスの車庫を建設した事により、分散管理 (駐車) をしていたバス車両を一元管理とし、また同時に不足していた駐車場の整備を行った。

⑤金津小学校整備事業 (9,846 千円)

パソコン教室の機器の老朽化のため、機器及び学習ソフトを購入した。

⑦高松中学校整備事業 (25,732 千円)

パソコン教室の機器の老朽化のため、機器及び学習ソフトを購入した。また屋外競技の部活動用の部室を老朽化により整備を行った。

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">主な取組</p>	<p>(6) スクールバス運行事業 (11,362 千円) ①校外活動などの学校行事、各種大会などへの児童生徒の送迎にスクールバスを活用した。</p> <p>(7) 生徒通学用安全着補助事業 (408 千円) ①通学時の安全を向上させるため、自転車通学を行う中学校生徒に対し、ヘルメット (140人分)、ベスト (151人分) の購入費用の一部を補助した。</p> <p>(8) 安全・安心のための取組</p> <p>①各小中学校において、登下校に関する児童生徒の安全確保のため、地域住民やPTAの協力による学校安全ボランティアなどの活動により登下校時の安全を確保した。</p> <p>また、小学校において、通学路の安全点検をPTA・道路管理者・交通管理者・学校関係者にて実施し、対策案を取りまとめた。</p> <p>危険箇所 30箇所 対策済 23箇所 H25対策予定 7箇所 ※対策済には、事業実施中を含む</p> <p>②「いいメールかほく」内の学校情報メールを活用し、保護者に対して必要な学校情報を随時発信し、迅速な情報提供を行った。</p>
---	---

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">評価</p>	<p>経済的理由で就学が困難な児童生徒に対して必要な援助を行うことにより円滑な義務教育の実施を図ることができた。特別支援教育に係る補助も含めて安定した就学の保障を行うことは、教育の機会均等の精神に基づくものであることから、今後も継続して実施していく必要がある。</p> <p>幼児教育補助金交付の実施により幼児教育の普及充実を図ることができた。保護者のニーズに応じて保育園・幼稚園の選択ができる環境を今後も維持していくためにも必要となる。</p>
---	---

<p>評価</p>	<p>平成22年度から高等学校の授業料無償化が始まったが、市内には高等学校がないことから、必ず必要となる通学費に加え、学用品等の負担もあることを考慮し、育英奨学補助金制度を継続したことによって有用な人材の高等学校などへの就学を支援することができた。</p> <p>また、受給者は受給の要件である学業成績の維持にも努めることとなり、修学の向上が図られた。</p> <p>学校施設整備については、安全・安心な学校づくりとして、老朽化により劣化が激しい七塚小学校・外日角小学校の外壁工事により安全な学校整備を図るとともに、金津小学校・高松中学校のパソコン教室の機器の老朽化のため、機器及び学習ソフトを更新することにより、児童生徒の就学環境の向上することができた。</p> <p>また、非構造部材の耐震調査を実施した。その他に、必要となる改修や整備についても随時実施し、安全・安心な学校づくりができた。</p> <p>スクールバスの運行によって遠方から通学する児童の利便性が確保されているが、狩鹿野から通学している、小学1年生から小学3年を対象に、スクールバスを利用していますが、冬季期間については、狩鹿野の小学校全学年を対象とし通学の安全を図った。</p> <p>また、学園台から通学している、小学校全学年をスクールバスの対象とし、通学の安全を図った。</p> <p>地域住民による見守りを実施したことによって児童生徒の登下校時の安全・安心が図られた。</p> <p>また、通学路の安全点検を実施することにより、PTA・道路管理者・交通管理者間において、危険箇所の共通認識を行うことができ、道路のラインの引き直し等を行い、児童生徒の安全確保を図られた。</p> <p>その他に、「いいメールかほく」を活用して多くの学校情報の発信を積極的に図られた。</p>
-----------	---

**施策2 社会性を育み、個々が生きがいを持ち、共に学びあい支えあう
生涯学習社会の実現を目指して**

【生涯学習課】

1 家庭教育力の向上を図るための学習活動の推進

主な取組	<p>(1) 市民憲章推進事業（生涯学習推進事業の一部）</p> <p>①「交通安全・あいさつ運動」を展開した。</p> <p>②「早寝 早起き 朝ごはん運動」を展開した。</p> <p>(2) 親子ふれあい事業（生涯学習推進事業・文化財保護事業の一部）</p> <p>①親子歴史体験教室を開催した。</p> <p>②親子天体望遠鏡づくり教室を開催した。</p> <p>③親子トンボ玉作り教室を開催した。</p>
------	--

評価	<p>健やかな子どもたちを育むため、生活リズムや規則的習慣などを身につける取り組みとして、地域や家庭とともに「交通安全・あいさつ運動」や「早寝 早起き 朝ごはん運動」を展開した。</p> <p>また、共同作業を通じて親子がふれあう体験教室を開催し、親子のコミュニケーションを深める機会とした。</p> <p>これらの取り組みを通じて、「子どもの社会性を育む場としての家庭」、「子どもの居場所としての家庭」の機能を高めることを図った。</p> <p>親子ふれあい事業の参加者からは、親子のコミュニケーションを図る良い機会となったとの感想が寄せられており、親子関係の強化につながったものと考えている。</p> <p>今後も親子のつながりを深める取り組みを推進し、子どもたちの生活の基盤である家庭の力を高めることを促進していきたいと考えている。</p> <p>「早寝 早起き 朝ごはん運動」の推進にあたっては、各種団体や学校・地域との一体的連携による運動を更に進めていく必要があると考えている。</p> <p>また、親・保護者としての力を高める講座などの取り組みを展開する必要があると考えている。</p>
----	---

2 地域教育力の向上にむけたコミュニティ活動の活性化

主 な 取 組	<p>(1) 公民館管理運営事業 (84,611 千円)</p> <p>①市内の七塚・宇ノ気地区の各地域を対象とする公民館活動を支援するため、運営費補助金を交付した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域づくり推進事業補助金 (16 件) <p>②各中学校区単位・市内全域を対象とした、社会教育的あるいは生涯学習的事業を展開し、地域の連帯の強化や地域力の向上を図った。</p> <p>【七塚地域】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・七塚地区市民交流大会 (グラウンド・ゴルフ大会) 1 回 <p>【宇ノ気地域】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宇ノ気中学校区市民交流大会 (ビーチボールバレー大会) 1 回 ・子ども煎茶教室 (小学生対象) 11 回 <p>【全域対象】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども太鼓教室 (小学生対象) 12 回 ・カルタ教室 (小学生対象) 10 回 ・子どもパステルアート教室 (小学生対象) 7 回 ・夏休み教室 (小学生対象・親子対象) 3 回 ・親子望遠鏡づくり教室 (親子対象) 1 回 ・親子トンボ玉作り教室 (親子対象) 1 回 ・ふれあい大学 (高齢者対象) 2 回 ・パステルアート講座 (一般対象) 1 回 ・パーソナルカラー講座 (一般対象) 2 回 ・筆ペン書道講座 (一般対象) 2 回 ・コーヒーの美味しい入れ方講座 (一般対象) 1 回 ・iPad 講座 (一般対象) 1 回 ・マジック講座 (一般対象) 2 回 ・星空のつどい (一般対象) 1 回 ・革細工講座 (一般対象) 5 回 <p>③地域の公民館施設を良好に維持することで、地域コミュニティ形成の場としての機能を確保した。</p> <p>(主な内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区公民館の修繕 <ul style="list-style-type: none"> 外日角、白尾、内日角公民館 : 耐震補強・大規模改修 秋浜公民館 : フェンス・屋外階段改修 森公民館 : 玄関スロープ手摺設置
------------------	--

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">主な取組</p>	<p>(2) 地域ぐるみの学校支援推進事業 (257 千円)</p> <p>①地域全体で学校教育を支援し、地域ぐるみで子どもの教育を推進し、地域の教育力向上などを図る取り組みとして、石川県の補助事業を受け、学校支援ボランティア活動を展開した。</p> <p>(事業内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校区毎に市職員による地域コーディネーターを配置し、これまでの学校支援ボランティアの人材把握、整理を行うとともに、学校からの支援要望に応じて、学校支援ボランティア人材による活動を実施。 <p>(3) 各種団体補助負担金 (7,674 千円)</p> <p>①市内11の団体組織に社会教育的活動を支援するため補助金を交付した。</p> <p>(主な交付団体)</p> <p>文化協会、子ども会連絡協議会、女性協議会、各種女性団体連絡協議会、PTA連合会、国際交流協会</p>
---	--

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">評価</p>	<p>地区公民館は、各地域の自治公民館として地域が主体となって、地域づくりや青少年の健全育成など地域住民を対象とした活動を行った。また、老朽化した施設が多いことから、耐震補強・大規模修繕工事、施設・設備の修繕を行い、適正な維持管理に努めた。今後も各施設の老朽化に伴う修繕が予想され、自治会との協議等が必要である。</p> <p>女性会をはじめとして、地区における社会教育団体組織の縮小や活動低下の傾向が表面化してきた。各種組織を支える人材育成の取り組みとして、地域づくり人材育成講座を実施した。(生涯学習推進事業)</p> <p>学校教育を支援するため、学校が必要とする人材について地域の方々をボランティアとして派遣することができた。本事業の取り組みについては、広報誌やボランティアだより、ホームページ掲載などの啓発活動により市民に認知されつつある。今後も市民に対し取り組みや活動を周知し、地域住民の連帯と融和、地域の教育力の向上につなげていく。</p> <p>また、地域の大人と子どもの交流を図る地域支援型事業を学校支援ボランティア推進事業として継続し、大人の子どもたちへの関わりを深め、地域や家庭の教育力の向上に取り組んでいく。</p>
---	--

3 豊かな心を育むための青少年教育・読書活動の推進

主な取組	<p>(1) 成人式・立志式開催費 (1,051 千円)</p> <p>①成人式</p> <p>成人の日を記念して新成人者が社会の一員となったことを自覚し、人として有意義な人生を歩んでいく決意を持って実社会へ門出ができるように祝い励ますことを目的に成人式を開催した。</p> <p>期 日：平成25年1月13日(日)</p> <p>場 所：河北台中学校講堂</p> <p>対象者：370名(うち参加者 294名)</p> <p>②立志式</p> <p>自分の将来に夢や希望を抱き、志を立て、目的意識をもった生き方を考える機会として、立志式及び記念講演会を開催した。</p> <p>期 日：平成25年2月1日(金)</p> <p>場 所：河北台中学校講堂</p> <p>対象者：406名(市内3中学校の2年生)</p> <p>内 容：各学校生徒代表による意見発表</p> <p>講演会：講師 ロンドンオリンピックトランポリン競技 日本代表 伊藤 正樹 氏 演題 「夢に向かって」</p> <p>(2) 少年愛護センター事業 (1,820 千円)</p> <p>①少年愛護センター運営委員会の意見を反映し、少年愛護指導員と60名の少年愛護員が街頭補導活動や有害環境浄化活動に取り組み、青少年の健全育成に努めた。</p> <p>(主な事業)</p> <p>巡回補導</p> <p>少年愛護指導員(月～金 15:00～17:00)</p> <p>少年愛護員 (年間16回×3地区 19:30～21:00)</p> <p>運営委員会の開催</p> <p>愛護センター会議の開催</p> <p>少年愛護センター会報「ふれ愛」発行</p> <p>少年愛護看板作成</p> <p>(3) 市民憲章推進事業(生涯学習推進事業の一部)</p> <p>市職員が参加して「交通安全・あいさつ運動」を行うとともに、関係所管が協力して「早寝 早起き 朝ごはん運動」を展開した。</p>
------	--

(4) 図書館管理運営事業 (31,770千円)

新設中央図書館を開館し、宇ノ気や高松に図書室・学習室を整備して、新しいハードによる新たな体制での図書館事業を展開した。

①平成24年4月1日、中央図書館の運営を開始。図書館サービスの向上を図り、市民読書の日（毎月23日）を制定して各種事業を展開した。

②図書資料の充実を図るとともに、広報紙・ケーブルテレビ・ホームページなどを通じておすすめ本や新刊情報を発信し、市民の読書活動を支援・推進しながら生涯学習施設としての事業を展開した。

(中央図書館の利便性向上について)

・開館日と開館時間の拡大

祝日開館の実施

開館時間の拡大 火曜～金曜：10時～18時→9時～19時

・シャトルバスの運行（火～金）

(年間利用状況)

・入館者数 112,809人

・貸出人数 49,142人

・貸出冊数 257,424冊

(図書資料など購入数)

・図書購入 6,090冊

・視聴覚資料購入 57点

(主な事業)

・手作り絵本教室の開催（2回シリーズ）

・図書館まつりの開催（生涯学習フェスティバルにあわせて実施）

・子育て支援センターえほんだいすき、保育園児・幼稚園児を招待しお話し会などを開催（48回）

・ブックスタート（21回）

・市民読書の日事業（毎月23日前後の日曜日に実施）

・市民読書の日ポスター（応募作品）展示

・ランチタイムコンサート（8回）

・アフタヌーンコンサート（11回）

・朗読講演会（3回）講演・講座（4回）

・おはなし会 毎月1回

・読書カフェ（3回）

・絵本で楽しむクッキング（3回）

・開館1周年イベント

(市民参加の図書館運営)

・ボランティア養成講座（4回）による人材の育成

・かほく市図書館運営協力者会議の開催（2回）

・図書館友の会の発足と活動の開始

発足 H24.6.3、会員数108名

活動内容

・毎週火曜日 返却ボランティア実施

・古本朝市（市民読書の日事業に開催）

<p>評価</p>	<p>成人式・立志式は、次代のかほく市を担う青少年を祝福し、自覚を持ってもらう大切な事業であり、この式への参加を通じてかほく市に愛着を持ち、市や地域コミュニティづくりの核になることを目的として開催している。</p> <p>成人式については、石川県立看護大学の県外出身（住民登録はかほく市）の学生が出身地の成人式に出席することもあり、高松地区では対象者の 68.3%の参加率となっているが、市内全体の参加率は 78.2%であり、今後も高い出席率となるよう努めていく。</p> <p>少年愛護センター事業では、少年愛護指導員の日常巡回、少年愛護員による定例巡回などの地道な取り組みにより、青少年非行の未然防止に取り組んだ。今後も巡回コース・時間帯・回数などについては、状況を踏まえながら検討し、警察との連携を取りながら、引き続き青少年非行の防止と健全育成に取り組んでいく。</p> <p>青少年を交通事故から守り、社会性を育む取り組みとして、「交通安全・あいさつ運動」を実施した。</p> <p>情報媒体の変革による情報の氾濫は、一方で青少年を取り巻く環境の悪化を招いており、青少年を守り健全に育む市民意識の高揚を図ることが必要である。</p> <p>かほく市立中央図書館の開館により更なる市民の読書活動の推進を図るため、新規事業の実施や開館時間の延長、祝日開館を行った。</p> <p>また、市民参加の図書館運営を目指して、「かほく市図書館運営協力者会議」を立ち上げ、より広く市民の意見を図書館運営に取り入れるようにした。また、図書館応援団として「図書館友の会」が設立され返却ボランティアやおはなしボランティア、古本朝市の開催などの運営協力があった。</p> <p>さらに、中央図書館への来館が困難な人への配慮として、シャトルバスを宇ノ気地区、高松地区へ火曜日から金曜日に一日に2往復運行した。一年間の利用状況の検証から、運行を毎週日曜日のみとするものの検討を進めた。</p> <p>今後も、中央図書館を拠点として、多様化する市民ニーズに対応できるような運営を目指し、読書活動の推進や読書を通じた教育・学習環境の充実を図るとともに、サービスの向上を図りつつ、より多くの市民の皆様にご利用いただける図書館となるよう努めていく。</p>
-----------	---

4 男女共同参画社会の実現に向けた啓発活動の推進

主 な 取 組	<p>(1) 男女共同参画社会推進事業 (154 千円)</p> <p>①市民に対して啓発活動を行い、男女共同参画社会に対する意識を高揚し、理解を促進した。</p> <p>(事業内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 安藤哲也氏による絵本ライブの開催【石川中央広域圏協議会連携事業】 期 日：平成24年10月8日(月・祝) タイトル：「子育てはライブ・da!!」 会 場：内灘町役場 内 容：絵本の読み聞かせ、簡単な昼食作りの提案など ・ 男女共同参画啓発映画会の開催(人権擁護委員共催) 期 日：平成24年10月14日(日) タイトル：「一枚のハガキ」 内 容：仲間の兵士から一枚のハガキを託された兵士と終戦後、訪ねたそのハガキの送り主である兵士の妻の物語。生命の大切さ、女性の人権について考える。 ・ 認知症シンポジウムの開催(認知症ケア啓発事業共催) 期 日：平成24年10月20日(土) タイトル：「認知症にやさしいまちづくりシンポジウム ～ともに支え合う地域づくりをめざして～」 内 容：認知症について理解を深め、認知症になっても安心して住み慣れた地域で暮らせるまちづくりと介護などの家事分担について考える。 <p>②学びの機会として、女性を対象とした各種講座を開催し、教養・文化の向上を図った。</p> <p>(主な事業)</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td>・ バランスボール講座</td> <td style="text-align: right;">1回</td> </tr> <tr> <td>・ 布ぞうり作り講座</td> <td style="text-align: right;">2回</td> </tr> <tr> <td>・ 手相講座</td> <td style="text-align: right;">1回</td> </tr> <tr> <td>・ 一眼レフデジカメ講座</td> <td style="text-align: right;">2回</td> </tr> <tr> <td>・ スマートフォン講座(夫婦対象・女性対象)</td> <td style="text-align: right;">各1回</td> </tr> </table>	・ バランスボール講座	1回	・ 布ぞうり作り講座	2回	・ 手相講座	1回	・ 一眼レフデジカメ講座	2回	・ スマートフォン講座(夫婦対象・女性対象)	各1回
・ バランスボール講座	1回										
・ 布ぞうり作り講座	2回										
・ 手相講座	1回										
・ 一眼レフデジカメ講座	2回										
・ スマートフォン講座(夫婦対象・女性対象)	各1回										

評 価	<p>男女共同参画社会基本法に基づき男女共同参画社会の実現を目指して市民の意識啓発に向けた講座、講演会、広報活動に取り組んだ。今後も参加しやすい環境づくりを行い、市民の意識啓発の向上に取り組んでいく。</p> <p>女性の教養・文化の向上を図るため、女性を対象とした講座を実施した。今後も女性の地位向上につながる講座を開催していく。</p>
--------	--

5 国際社会に対応するための国際理解教育の推進

主 な 取 組	<p>(1) 国際交流事業 (10,545 千円)</p> <p>① ドイツのメスキルヒ市との相互訪問などにより異文化に対する理解を深めるほか、国際交流員を配置し、市国際交流協会との連携による国際理解教室及び語学教室などを開催することにより市民の国際感覚の向上を図った。</p> <p>(主な事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 姉妹都市交流事業 (市民交流訪問団受入) 訪問団員：6人(成人) 期 間：平成24年5月29日(火)～6月8日(金) (青少年派遣) 訪問団員：21人(中学生17人、引率者4人) 期 間：平成24年10月3日(水)～10月13日(土) ・ 国際交流員の配置 C I R (国際交流員) 1人を配置し、園児から成人を対象に異文化理解教育を推進した。 ・ 第25回 JAPAN TENT かほく市プログラムの実施 市国際交流協会に委託して、かほく市プログラムを実施した。 受入留学生：17人(13カ国) 受入ホスト：9家族 期 間：平成24年8月23日(木)～26日(日)
------------------	--

評 価	<p>ドイツメスキルヒ市との姉妹都市交流事業について、平成24年度は市民交流団の受入れと青少年訪問団の派遣を実施した。</p> <p>メスキルヒ市の同年代の子ども達との交流を通じて両市の相互理解と交流を促進し、併せてかほく市の中学生の国際的視野を広げ、国際協力の精神を養い、これからのかほく市を担うにふさわしい青少年の育成に資することができた。</p> <p>また、市民交流訪問団6人がかほく市を訪れ、市内4家庭にホームステイをし、親交を深めることができた。</p> <p>今後も、姉妹都市交流事業を企画・実施するにあたり、今まで以上に市民や市民団体の積極的な参加を得ることを目指し、市民の国際理解を深める方策について、かほく市国際交流協会と連携しながら進めていく。</p>
--------	---

6 生きがいくりに向けた文化活動の推進

主な取組	<p>(1) 生涯学習推進事業 (5,581 千円)</p> <p>市民の学習活動の成果の発表の場としての生涯学習フェスティバルを開催するとともに、職員出前講座のほか市民向けの講座等を実施した。</p> <p>また、かほく市内の文化活動団体紹介チラシを全戸配付した。</p> <p>①第9回生涯学習フェスティバル</p> <p>期 間：平成24年11月3日(土)～11月4日(日)</p> <p>会 場：河北台中学校講堂、河北台健民体育館など</p> <p>内 容：芸能発表会、各種展示会、フリーマーケット、図書館まつり</p> <p>記念講演：講師 石毛宏典 氏</p> <p>演 題：「石毛流 以心伝心」</p> <p>※併せて市健康まつり(健康福祉課主管)を開催した。</p> <p>②かほく市地域づくり人材育成講座</p> <p>期 間：平成24年9月18日、10月16日、11月20日</p> <p>啓発講演会 12月15日</p> <p>会 場：七塚健康福祉センター</p> <p>内 容：実習(ワークショップ)、講義、事業企画書の作成</p> <p>講 師：(株)御祓川 代表取締役 森山奈美 氏</p> <p>③クリスマスコンサート</p> <p>期 日：平成24年12月18日(火)</p> <p>会 場：石川県西田幾多郎記念哲学館 哲学ホール</p> <p>内 容：アンサンブル金沢のメンバーによる弦楽四重奏</p> <p>入場者数：大人 155人、中学生以下 2人 (計 157人)</p> <p>④出前講座(講師は市職員)</p> <p>開催時期：平成24年4月～平成25年3月</p> <p>回 数：40講座29回 延べ参加者数：679人(平均23人)</p> <p>会 場：市内の公共施設、地区集会場等</p>
------	---

主 な 取 組	<p>⑤天体観望会 開催時期：平成24年5月～11月、毎月第2・第4土曜日 参加人数：各回10人程度</p> <p>⑥囲碁将棋大会 期 日：平成24年12月9日（日） 会 場：宇ノ気老人福祉センター 参加人数：囲碁 28人、将棋 19人（計 47人）</p> <p>⑦文化振興激励費支給 全国高校総合文化祭等の出場者に激励費を支給した。 対象者：10名</p> <p>(2) 女性センター管理運営事業（1,316千円） ①施設の適切な維持管理を行うことにより市民に安心して安全に利用できる生涯学習活動の場を提供した。また、女性センター事業として講座を開催し、地域の人たちとの絆やふれあいが得られることを目的として実施した。</p> <p>(3) 七塚生涯学習センター管理運営事業（13,429千円） ①かほく市立中央図書館の整備により、廃止した七塚図書館・七塚勤労青少年ホームを七塚生涯学習センターとし、施設の適切な維持管理を行うことにより市民に安心して安全に利用できる生涯学習活動の場を提供した。</p> <p>(4) 宇ノ気生涯学習センター（8,528千円） ①かほく市立中央図書館の整備により、廃止となった宇ノ気図書館及び宇ノ気勤労青少年ホームを併せて宇ノ気生涯学習センターとし、施設の適切な維持管理を行うことにより市民に安心して安全に利用できる生涯学習活動の場を提供した。</p>
------------------	--

<p>評価</p>	<p>様々な学習意欲を持つ市民に対し文化活動団体に関する情報を提供した。また、学習活動の成果の発表の場としての生涯学習フェスティバルを開催したほか、市民向け講座や職員出前講座を実施し、市民の学習意欲の向上を図った。</p> <p>今回の生涯学習フェスティバルでは、女性会によるスライドファッションショー、かほく市の伝統行事「絆」のDVD上映のほか、リニューアルオープンした中央図書館を会場にグリム生誕200年にちなんだ講演会（図書館まつりの一環）、「星空のつどい」などを行った。今後も新たな内容を取り入れながら、展示会場のレイアウト、展示内容についても改善を加え、より多くの市民に来場していただけるよう検討していく。</p> <p>また、地域のコミュニティ活動の活性化を図るきっかけづくりとして、地域づくり人材育成講座を実施した。市民が自ら考え行動することの重要性や地域の絆の大切さなどについて考え、グループでの実践的な事業企画書の立案・プレゼンテーションを通じてグループ仲間との関わりを学び、受講者自身がまちづくり活動を行うための意識啓発を図った。</p> <p>市民に対して良好な生涯学習の場を提供するため、中央図書館整備に合わせて七塚生涯学習センター・七塚勤労青少年ホームを七塚生涯学習センターとして再編した。</p> <p>また、宇ノ気勤労青少年ホーム・宇ノ気図書館についても、中央図書館整備に併せて宇ノ気生涯学習センターとして再編した。</p> <p>今後も、適切な維持管理を行い、引き続き、市民の学習意欲の向上と学習成果を地域で活用できるよう支援を進める。</p>
-----------	--

7 地域文化を育み、郷土愛を培う活動の推進

主 な 取 組	<p>(1) 西田記念哲学館管理運営事業 (39,289 千円)</p> <p>①石川県西田幾多郎記念哲学館及び西田幾多郎書斎「骨清窟」の適切な維持管理を行った。西田幾多郎に関する資料の展示並びに哲学に関する企画展、講演会及び講座を開催し、哲学を通じての生涯学習の機会を提供した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・哲学館入館者数 26,357人 (うち展示室観覧者数 6,593人) ・その他哲学館外事業 (出前講座その他) 2,144人 <p>(主な事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・哲学館運営委員会の開催 2回 ・西田幾多郎哲学講座 全12回+野外学習1回 ・寸心読書会 全12回 ・入門講座「ゆっくり読む『善の研究』」 全6回 ・市内小中学校「共通道徳」実施 小学校6校(5年生)、中学校3校(2年生) ・哲学カフェ 全18回 ・機関紙「哲学館ニュース」第16号、第17号発刊 ・雑誌『点から線へ』第61号発刊 ・哲学館ギャラリー (ホワイエ・展望ラウンジ) 利用 ホワイエ77日、展望ラウンジ39日利用 (主催・貸館含) <p>◆開館10周年記念事業</p> <p>講演会・展示室無料開放・展示会「西田哲学館十年の歩み展」・新規オリジナルグッズ作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別企画「幸福 (しあわせ) について考える」 講演会 全4回 映画上映会 2日 (延べ4回) ・禅文化体験会 1回 ・映画「ガイアシンフォニー 第七番」上映会 4回 (1日に4回上映) ・展示会「木田詩子 遙かなる調べ」 <p>◆鈴木大拙館との連携事業</p> <p>友の会優待事業・相互優待事業・事業共同開催 (展示会・講演会)・共同で印刷物作成</p>
------------------	--

(2) 総合交流促進施設（うみっこらんど七塚）運営事業（18,456 千円）

①施設の適切な維持管理を行い、漁具資料の見学開放、市民ギャラリーにおける作品鑑賞、加えてキャンプ場及びバーベキュー場の運用を提供することにより人々の交流活動を促進した。

- ・博物館展示室観覧者数 9,940人
（うち市民ギャラリー入場者数 7,290人）
- ・キャンプ場等利用者数 8,894人
（うちバーベキュー場利用者数） 4,957人
- ・「市民ギャラリーうみっこ」における展示会の開催 36回

(主な展示会)

- ・市絵画愛好会グループ展
- ・パステルアート展
- ・市書道協会展
- ・写真愛好家50人+α展
- ・押花アート合同展
- ・バラのコサージュ展
- ・PFU社友会作品展
- ・早春の山野草展
- ・MOA美術館児童作品展
- ・私の作品展
- ・市生け花協会展

(3) 文化財保護事業（4,137 千円）

①市指定文化財の保護・管理、文化財の保存・公開等を通じて市民に対し文化財保護を啓発し、地域の歴史や文化に対する理解を深め、郷土意識の高揚を図った。

(主な事業)

- ・文化財保護審議会の開催 2回
- ・親子歴史体験教室の開催（再掲） 1回
- ・小学生対象土器作り教室の開催 5校
- ・市指定文化財（天然記念物）の樹木診断 1回
- ・上山田貝塚、大海西山弥生の里等の管理（芝生管理、樹木管理）
- ・市指定文化財保護看板の設置（ハマナス・シロチドリ） 3基
- ・収蔵文化財の集約・整理
- ・文化財展示コーナーの設置（中央図書館・海と渚の博物館）
- ・かほく市指定文化財シイノキの保護措置 一式

西田幾多郎記念哲学館では、入門者・初心者向けの「入門講座」、中級者・上級者向けの「西田幾多郎哲学講座」、じっくりと哲学書を読み進める「寸心読書会」を開催している。それぞれの講座でターゲットとなる利用者層を変えることを心がけて企画している。また、講座終了後に喫茶室で講師を囲んで哲学について討議する「哲学カフェ」を行い、講座参加者と講座講師が気軽に討論できる場として好評の声をいただいている。

また、「特別企画」は、哲学に興味がある人はもちろん、哲学に興味がない人たちをも哲学館に呼び込むことを目的として実施し、平成24年度は幸福（しあわせ）をテーマとした。『銀河鉄道の夜』の宮沢賢治、『夜と霧』の فرانクル、『幸福論』のアラン、ブラジル移民の幸せなどについて、多様な講演会と映画上映会を開催した。

平成21年度から開始した「市内小中学校『共通道徳』」事業を平成24年度も継続して実施した。市内小学校6校（5年生）、中学校3校（2年生）が哲学館を訪問し、西田幾多郎に関する講義を受け館内見学を行った。また、市内小中学校へは出前講座も実施している。この事業により市内の特定の学年の全児童が哲学館を訪問することになり、地域の偉人に対する意識を高めることにつながった。

平成24年度は、西田幾多郎記念哲学館の開館10周年記念の年であり、関連事業を開催した。設計者・安藤忠雄による記念講演会、展示室の無料開放、十年の足跡を辿ったパネル展示、新規オリジナルグッズの作成などにより、多くの来館者を得て、メディアにも多く取り上げられた。

金沢市の鈴木大拙館との交流協定事業を継続し、平成23年度に引き続き、片方の博物館の入場券の半券でもう片方の博物館へ無料で入館できるという入場優待事業を行った。その他、両館の協力により企画展示・講演会を実施し、講師の相互派遣なども行った。

総合交流促進施設（うみっこらんど七塚）では、「海と渚の博物館」における漁具資料の展示、市民ギャラリーコーナーの運営、加えて屋外キャンプ場及びバーベキュー場などの運営により人々の交流活動を促進した。今後も多くの方に利用していただけるようPR活動の強化を図りたい。

埋蔵文化財の収蔵場所は、点在していたが一括集約して保管したことにより、文化財の適切な管理や活用に取り組むことができた。史跡については、児童生徒の学習教材としての活用を図り、地域の歴史に触れる憩いの場としての機能を保持した。引き続き市民が地域の歴史や文化に対して愛着や誇りが持てるよう文化財の管理・公開・活用に努めていく。

また、開発行為などに伴う埋蔵文化財の取扱いについては、今後とも引き続き関係機関との連絡調整を密にしながら円滑な事前協議に努め、必要に応じて適切な記録保存を行っていく。

施策3 市民一人一人が自主的にスポーツに取組、健康で豊かな生活ができるよう生涯スポーツの実現を目指して

【生涯学習課】

1 生涯スポーツ活動の推進

主 な 取 組	<p>(1) スポーツ推進委員の各種研修会の参加事業 (485 千円)</p> <p>市民に対し、スポーツの実技指導助言を図るとともに、各種研修会に参加しスポーツ推進委員としての資質向上に努めた。</p> <p>①全国スポーツ推進委員研究協議会に参加した。(長崎県) 4人参加 期 日 平成24年11月29日(木)・30日(金)</p> <p>②北陸地区スポーツ推進委員研修会に参加した。(新潟県) 5人参加 期 日 平成24年6月30日(土)・7月1日(日)</p> <p>③石川県スポーツ推進委員研修会に参加した。(珠洲市) 9人参加 期 日 平成24年12月2日(日)</p> <p>④河北郡市スポーツ推進委員協議会実技研修会に参加した。(かほく市) 期 日 平成24年7月21日(土) 8人参加 平成25年1月26日(土) 8人参加</p> <p>(2) ふれあいウォークの開催 (28 千円)</p> <p>期 日 平成24年4月22日(日)</p> <p>コ ー ス 大海交流センターを発着 放牧場・桜並木(約7km)と 西山弥生の里(約6km)の2コース</p> <p>参加人数 100人</p> <p>(3) スポレクサーキット大会の開催 (197 千円)</p> <p>開催回数 年3回</p> <p>第1戦: グラウンド・ゴルフ</p> <p>第2戦: カローリング</p> <p>第3戦: ラージボール卓球</p> <p>チーム数 一般男子 13チーム 一般女子 6チーム 少年少女 4チーム</p> <p>(4) 生涯スポーツ振興事業の開催 (1,456 千円)</p> <p>高齢者の体力・健康増進を図った。</p> <p>①週1回の定期活動</p> <p>②第45回石川県健康クラブ普及育成研修会に参加した。 期 日 平成24年6月27日(水)(金沢市) 23人参加</p> <p>③第45回石川県健康クラブ交歓大会に参加した。 期 日 平成24年10月17日(水)(金沢市) 211人参加</p> <p>④第18回能登地区健康クラブ普及育成研修会に参加した。 期 日 平成24年10月25日(木)(内灘町) 21人参加</p>
------------------	--

主 な 取 組	<p>(5) 市民100日健康・体力づくり運動 (703 千円)</p> <p>日常生活の中に、自分に合った軽運動を目安として、30分以上週2回以上継続する習慣を身につけ、健康維持・増進、体力づくりを図った。</p> <table style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>100日達成者</td> <td>700人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>200日達成者</td> <td>518人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>300日達成者</td> <td>380人</td> <td>※平成22年度からの累計</td> </tr> </table> <p>(6) 総合型地域スポーツクラブ (クラブパル) 活動自立支援助成 (4,000 千円)</p> <p style="margin-left: 40px;">〃 クラブマネジャー設置支援助成 (4,596 千円)</p> <p style="text-align: right;">※スポーツ振興くじ助成及び寄附金</p> <p>かほく市におけるスポーツの普及・振興のために様々な教室運営や事業を行った。</p> <table style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>キッズコース</td> <td>5、</td> <td>ジュニアコース</td> <td>10、</td> </tr> <tr> <td>アスリートコース</td> <td>3、</td> <td>エンジョイコース</td> <td>13、</td> </tr> <tr> <td>スタジオ教室</td> <td>18、</td> <td colspan="2">ほかに文化教室・セミナーを開催した。</td> </tr> </table>	100日達成者	700人		200日達成者	518人		300日達成者	380人	※平成22年度からの累計	キッズコース	5、	ジュニアコース	10、	アスリートコース	3、	エンジョイコース	13、	スタジオ教室	18、	ほかに文化教室・セミナーを開催した。	
100日達成者	700人																					
200日達成者	518人																					
300日達成者	380人	※平成22年度からの累計																				
キッズコース	5、	ジュニアコース	10、																			
アスリートコース	3、	エンジョイコース	13、																			
スタジオ教室	18、	ほかに文化教室・セミナーを開催した。																				

評 価	<p>スポーツ推進委員は、各種研修会へ参加し資質・技能の向上に努めた。また、市民のスポーツ参加へのきっかけづくりとして「スポレクサーキット」や「ふれあいウォーク」など軽スポーツ事業を企画運営したほか、その他団体等のスポーツ行事などの運営に積極的に参画し、市のスポーツ振興に貢献した。</p> <p>高齢者健康クラブでは、毎週木曜日に七塚 (79人)、金曜日に高松 (67人)、宇ノ気 (80人) 健康クラブが定期活動 (練習)、交歓大会などを通して交流を図った。また、自己の体力度チェックとしてメディカルチェックに参加し、一人ひとりの体力・健康保持に努めた。</p> <p>市民の健康づくりを推進するため、市民100日健康・体力づくり運動を引き続き展開し、運動に馴染まない方のきっかけづくり及び自主的に日常生活内に運動を取入れてもらうきっかけづくりに努めた。</p> <p>総合型地域スポーツクラブ (クラブパル) の活動は、河北台中学校区におけるスポーツ・文化活動の振興を通して子どもたちの健全育成及び地域コミュニティの拡大を図っており、生涯スポーツ、健康づくり及び生涯学習の発展に寄与した。</p>
--------	---

2 児童生徒の体力・運動能力の向上

主な取組	<p>(1) スポーツ少年団育成事業 (2,185 千円)</p> <p>青少年の体力向上及び心身の健全な育成を図った。</p> <p style="margin-left: 40px;">団員数 32団体 793人 (うち中学生87人)</p> <p style="margin-left: 40px;">指導者数 184人</p> <p style="margin-left: 40px;">主な事業 市スポーツ少年団開講式 (4月)</p> <p style="margin-left: 80px;">スポーツ指導者講習会 (7月、11月)</p> <p style="margin-left: 80px;">市スポーツ少年団フェスティバル及び閉講式 (2月)</p>
------	---

評価	<p>市内児童の約33%がスポーツ少年団に加入しており、各団の定期活動を通じて仲間づくり、体力・技術力の向上、並びに青少年の健全育成が図られた。</p> <p>スポーツ少年団活動を通してジュニア期における体力・技術力の向上を図るためには、指導者として専門的な知識・技能や高いコーチング能力が求められる。そのために、スポーツ指導者講習会などを実施し、安全な活動と適切な指導に心がけた。</p> <p>かほく市スポーツ少年団としての長年にわたる活動が評価され、日本スポーツ少年団顕彰としての表彰を受けた。</p>
----	--

3 競技スポーツの充実・強化

主な取組	<p>(1) 全国大会等への参加選手等に対する激励費支給 (1,493 千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国大会出場選手等の激励会及び出場報告会の開催 (6回) <ul style="list-style-type: none"> インターハイ：7月25日 (水) インドパシフィックトランポリン競技：8月5日 (日) 全日本レディースソフトボール大会：8月30日 (木) 国民体育大会：9月21日 (金) ふるさと駅伝：11月20日 (火) 高等学校選抜大会：3月12日 (火) ・激励費支給者 (総数) <ul style="list-style-type: none"> 一般：監督、コーチ、選手 91人 大学生：選手 1人 高校生：選手 60人 中学生：選手 31人 小学生：選手 49人 幼児：選手 1人 <li style="margin-left: 40px;">延べ 233人
------	--

(2) 公認審判員（指導員）資格奨励金の実施（183 千円）

各種資格の取得を奨励することにより、競技者としての資質の向上と指導力の強化を図り、社会体育の振興を図る。

公認審判員等取得者数

陸上競技	16人	トランポリン	30人
オリエンテーリング	1人	レクリエーション	1人
ゲートボール	4人	ソフトボール	10人
水泳	1人		

(3) 競技スポーツの各種大会の開催

市民の体力向上及び日頃の練習の成果を発揮する場として、また、スポーツに親しむきっかけづくりの場として各種大会を実施した。

①石川県民体育大会へ参加（体育協会）

中心会期 平成24年 2月25日（土）・26日（日）：〔冬季〕
8月11日（土）・12日（日）：〔夏季〕

主会場 冬季（白山市）、夏季（羽咋郡市主会場）

成績 男子：一般の部＝第6位、壮年の部＝第5位、総合の部＝第5位
女子：一般の部＝第8位、壮年の部＝第6位、総合の部＝第6位

※男子総合でスポーツ躍進賞最高賞受賞

- ・石川県民体育大会に向けての市総合体育大会を開催するとともに、各種競技大会へ参加した。
- ・市体育協会加盟団体の強化発展と相互の連携を推進した。

②市長杯争奪石川県ラージボール卓球大会の開催（151 千円）

期日 平成24年8月19日（日）

会場 河北台健民体育館

チーム数 男子の部22チーム、女子の部13チーム

- ・30代から80代と幅広い年齢層で加賀、能登の地域を越えてラージボール卓球競技を実施した。

③サンドヒルグラウンド・ゴルフ大会の開催（795 千円）

期日 平成24年8月26日（日）

場所 高松グラウンド・ゴルフ場

チーム数 194チーム（970人）

主 な 取 組	<p>④学童招待野球大会の開催（296 千円）</p> <p>期 日 平成24年10月20日（土）・21日（日）</p> <p>会 場 宇ノ気野球場、金津ソフトボール場、 河北台中学校野球場、七塚中央公園多目的広場</p> <p>チーム数 市内3チーム、市外13チーム</p> <p>・市外からの学童野球チームを招待し、技術の向上と交流を推進した。</p> <p>⑤かほく市制施行記念継走大会の開催（473 千円）</p> <p>期 日 平成25年3月3日（日）</p> <p>コ ー ス 宇ノ気小学校～かほく市生涯学習センター</p> <p>総 延 長 13.2Km 4区間</p> <p>チーム数 一般男子37チーム 一般女子5チーム 中学男子10チーム 中学女子18チーム 市外一般男子7チーム</p> <p>・市制施行を記念し、中学生から大人までが市内コースを4人で継走した。</p>
------------------	--

評 価	<p>インターハイなど全国大会への出場者の一層の活躍を願い激励会を開催した。選手を鼓舞し、上位入賞を目指す精神的高揚を図った。</p> <p>公認審判員（指導員）としての資格を取得することにより、社会体育実践者としての資質を向上させ、社会体育の振興に寄与した。</p> <p>第64回石川県民体育大会では、正式競技41種目中36種目にエントリーし、男女ともに総合の部において入賞を果たした。競技種目によっては定期練習や強化練習会場の十分な確保が難しくなっているが、関係者による連絡調整をしながら対応している。今後も入賞を目指し、参加種目の増加に努めていく。</p> <p>各種大会の開催は、地域間の融和と活力あるまちづくり及び広く市民全体の体づくりに寄与しており、青少年健全育成や健康的市民の育成の一助となっている。</p>
--------	--

4 スポーツ施設の整備・充実

主な取組	<p>(1) 体育施設整備への主な取組</p> <p>かほく市体育施設整備計画（H23～H25）に基づき、高松野球場の全面改修、うのけ総合公園陸上競技場の夜間照明設備等の整備工事を行い、安全で安心なスポーツ施設の整備を進めた。</p> <p>①公園運動施設整備事業（252,881千円）</p> <ul style="list-style-type: none">・高松運動公園高松野球場 施設の老朽化に伴い、グラウンド施設、夜間照明施設設備、管理棟の全面改修を実施した。（夜間照明設備はH24～25の2年計画での改修予定）・（仮称）高松多目的競技場 旧高松陸上競技場に人工芝を敷設し、サッカー、ラグビーフットボール場等が利用する多目的競技場へと改修するために実施設計を行った。・うのけ総合陸上競技場 施設の利用時間を大幅に増やし、生涯スポーツの創造を目的に、夜間照明設備の整備を行った。またうのけ総合公園の受電設備の老朽化により、更新工事を行った。・谷公園 老朽化により照度不足な金津ソフトボール場の照明設備の更新工事を行った。 <p>②体育施設整備事業（53,546千円）</p> <ul style="list-style-type: none">・高松体育センター及び宇ノ気体育センターにおいて、両体育センターは旧耐震基準で建築されていることから、新基準での耐震性能の確認のため、耐震診断の調査と補強計画の策定を行った。また耐震診断・補強計画により必要となった耐震補強工事の実施設計を行った。・宇ノ気新化館の耐震補強及び大規模改修工事の実施により施設の安全対策を図った。 <p>(2) 体育施設維持管理への主な取組</p> <p>25体育施設（屋外10施設、屋内15施設）の維持管理・改修を行い、安心してスポーツに親しむ場を提供した。</p> <p>①芝生管理業務委託</p> <ul style="list-style-type: none">・うのけ総合公園（6,489千円）・高松運動公園体育施設等芝生管理業務委託（2,815千円）・高松グラウンド・ゴルフ場芝生管理業務委託（5,113千円） <p>②アクロス高松アクロス館プラザ屋根改修他（32,970千円）</p> <p>経年劣化による屋根材の改修及び煙感知器取替え</p>
------	---

主な取組	<p>③高松グラウンド・ゴルフ場改修（842 千円） クラブハウス改修、加賀コース地盤改修</p> <p>④河北台健民体育館設備等修繕（1,521 千円） 空調機器修繕、音響設備修繕、駐車場外灯修繕、トレーニング機器修繕</p> <p>（3）体育施設管理運営委託（指定管理）（54,412 千円） 23 施設の管理を指定管理者へ委託して事業の運営効率化と施設の維持管理の充実に努めた。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">{</td> <td style="padding-left: 10px;">指定管理施設</td> <td>宇ノ気体育センター外 14 施設</td> </tr> <tr> <td></td> <td>指定管理者</td> <td>財団法人かほく市公共施設管理公社</td> </tr> <tr><td colspan="3"> </td></tr> <tr> <td style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">{</td> <td style="padding-left: 10px;">指定管理施設</td> <td>宇ノ気体育館外 6 施設</td> </tr> <tr> <td></td> <td>指定管理者</td> <td>NPO 法人クラブパレット</td> </tr> <tr><td colspan="3"> </td></tr> <tr> <td style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">{</td> <td style="padding-left: 10px;">指定管理施設</td> <td>七窪体育館</td> </tr> <tr> <td></td> <td>指定管理者</td> <td>かほく市七窪区</td> </tr> </table>	{	指定管理施設	宇ノ気体育センター外 14 施設		指定管理者	財団法人かほく市公共施設管理公社				{	指定管理施設	宇ノ気体育館外 6 施設		指定管理者	NPO 法人クラブパレット				{	指定管理施設	七窪体育館		指定管理者	かほく市七窪区
{	指定管理施設	宇ノ気体育センター外 14 施設																							
	指定管理者	財団法人かほく市公共施設管理公社																							
{	指定管理施設	宇ノ気体育館外 6 施設																							
	指定管理者	NPO 法人クラブパレット																							
{	指定管理施設	七窪体育館																							
	指定管理者	かほく市七窪区																							

評価	<p>芝管理業務や各種工事・修繕の実施により、市民に快適に安心して利用できる体育施設の維持管理を図った。</p> <p>平成24年度においては、「社会資本整備総合交付金」「スポーツ振興くじ助成」の活用により、高松野球場改修工事、うのけ総合公園陸上競技場夜間照明設備整備、宇ノ気新化館耐震補強・大規模改修工事を実施し、平成25年度以降に実施する体育施設整備計画の実施に向けて、(仮称)高松多目的競技場、高松体育センター、宇ノ気体育センターの改修工事に向けた実施設計に着手することができた。</p> <p>25施設中23施設を指定管理者制度にて管理し、安全・安心な施設の維持管理に努めた。また、指定管理者によるイベント、スポーツ教室、セミナーなどの展開・開催により、いつでも、どこでも、気軽にスポーツに参加できる環境づくりを進めた。</p> <p>河北台健民体育館2階トレーニングセンターの運営については、健康福祉課と連携して「健康なまちづくり協働推進事業」（緊急雇用創出事業活用）としてNPO法人クラブパレットへ業務委託し、有酸素機器及びトレーニング機器を活用した高齢者健康教室（健皆スクール）、トレーニング指導などを実施し市民の健康増進を推進した。</p>
----	--

資 料

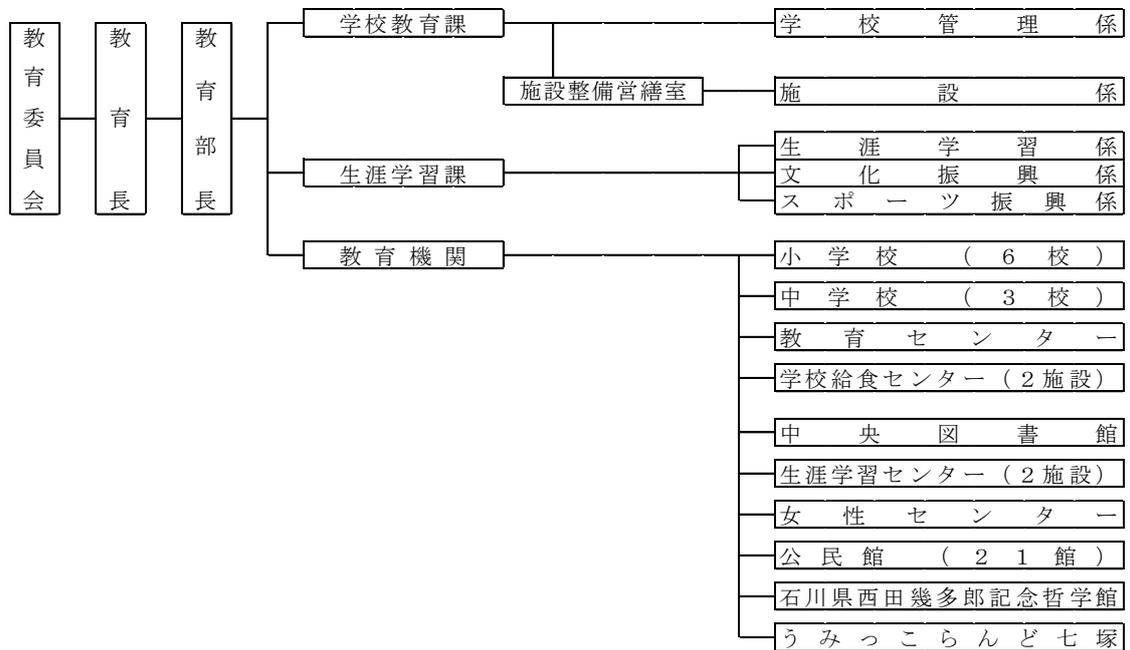
1 教育委員会委員

(平成25年5月1日現在)

職 名	氏 名	教育委員の任期
委 員 長	松井 三枝子	平成25年4月28日～平成29年4月27日
委員長職務代理者	寺西 哲 秀	平成24年4月28日～平成28年4月27日
委 員	架谷 瞬 華	平成22年4月28日～平成26年4月27日
委 員	中田 節 子	平成23年4月28日～平成27年4月27日
教 育 長	遠田 敏 博	平成24年4月28日～平成28年4月27日

2 教育委員会の組織

(平成25年4月1日現在)



3 教育機関

(1) 小学校

(平成25年5月1日現在)

名 称	開設年月日	児童数
かほく市立高松小学校	明治 6年	431人
かほく市立大海小学校	明治 8年 1月	107人
かほく市立七塚小学校	明治 6年 7月 4日	266人
かほく市立外日角小学校	明治 8年11月17日	415人
かほく市立宇ノ気小学校	明治 8年 4月10日	776人
かほく市立金津小学校	明治 6年11月	91人

(2) 中学校

(平成25年5月1日現在)

名 称	開設年月日	生徒数
かほく市立高松中学校	昭和22年 4月 1日	275人
かほく市立河北台中学校	昭和22年 4月 1日	412人
かほく市立宇ノ気中学校	昭和22年 4月 1日	472人

(3) 学校給食施設

(平成25年4月1日現在)

かほく市第1学校給食センター	かほく市第2学校給食センター
----------------	----------------

(4) 社会教育施設

(平成25年4月1日現在)

かほく市立中央図書館	かほく市七塚生涯学習センター
かほく市宇ノ気生涯学習センター	かほく市高松女性センター
石川県西田幾多郎記念哲学館	かほく市うみっこらんど七塚
かほく市高松公民館	かほく市二ツ屋公民館
かほく市長柄町公民館	かほく市木津公民館
かほく市松浜公民館	かほく市遠塚公民館
かほく市浜北公民館	かほく市秋浜公民館
かほく市外日角公民館	かほく市白尾公民館
かほく市森公民館	かほく市指江公民館
かほく市至誠が丘公民館	かほく市気屋公民館
かほく市宇気公民館	かほく市七窪公民館
かほく市宇野気公民館	かほく市内日角公民館
かほく市大崎公民館	かほく市金津公民館
かほく市上田名公民館	

(5) 社会体育施設

(平成25年4月1日現在)

かほく市高松体育センター	かほく市七塚体育センター
かほく市宇ノ気体育センター	かほく市河北台健民体育館
かほく市宇ノ気南部体育館	かほく市宇ノ気新化館
かほく市金津体育館	かほく市七窪体育館
かほく市宇ノ気スポーツセンター	かほく市河北台体育館
かほく市宇ノ気体育館	かほく市うのけ総合公園陸上競技場
かほく市高松野球場	かほく市宇ノ気野球場
かほく市金津ソフトボール場	かほく市七塚テニスコート
かほく市高松グラウンド・ゴルフ場	かほく市七塚武道館
かほく市高松弓道場	かほく市宇ノ気弓道場
かほく市アクロス高松	

4 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

平成24年度

かほく市教育委員会点検及び評価報告書

発行年月：平成25年 8月

発行者：かほく市教育委員会

学校教育課 TEL 076-283-7136 / FAX 076-283-3643
E-mail : gakkou@city.kahoku.ishikawa.jp
生涯学習課 TEL 076-283-7137 / FAX 076-283-3643
E-mail : syougai@city.kahoku.ishikawa.jp

〒929-1195 石川県かほく市宇野気ニ81番地（かほく市役所内）

URL : <http://www.city.kahoku.ishikawa.jp/>